

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(4月)

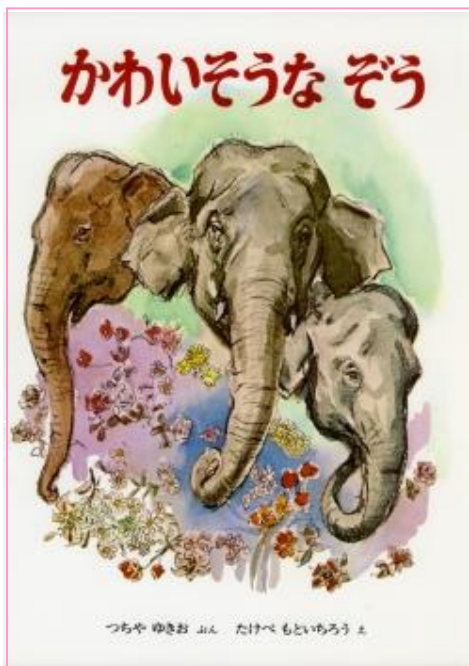
<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『 かわいそうなぞう 』

つちや ゆきお 文 / たけべ もといちろう 絵 / 金の星社
初版:1970年8月 幼児から



子ども達に是非読んでほしい絵本です。
今から77年前、日本とアメリカが戦争していた時のこと
です。東京が空襲で人も上野動物園の動物たちも
住めなくなってしまうゾウやライオン、トラたちも移動
をすることが出来ませんでした。

食事を与えないで餓死させられた3頭のゾウの大変
悲しいお話です。

今、ウクライナでもロシアによって悲惨な事件が起
きています。世界中の人々を震撼させています。そし
て、ウクライナの子供達も戦争により、日々苦しい思
いをしています。

戦争は全てを破壊してしまいます。一日でも早く平
和が戻ることを願っています。

内容のご紹介

戦争中、上野動物園で三頭のゾウが殺されました。これは本当にあった悲しいお話をもとにした名作絵本です。

毎年終戦記念日に評論家の秋山ちえ子氏が平和への願いをこめてラジオで朗読し、テレビでも紹介されました。(秋山ちえ子さんは、2016年4月6日ご逝去されました。)

1967年から毎年8月15日に朗読して下さった『かわいそうなぞう』。
秋山ちえ子さんの蒔いて下さった種を、わたくしたちは大切に育ててまいります。
心から、ご冥福をお祈り申し上げます。 参考文献:金の星社 紹介文 (矢祭もったいない図書館)